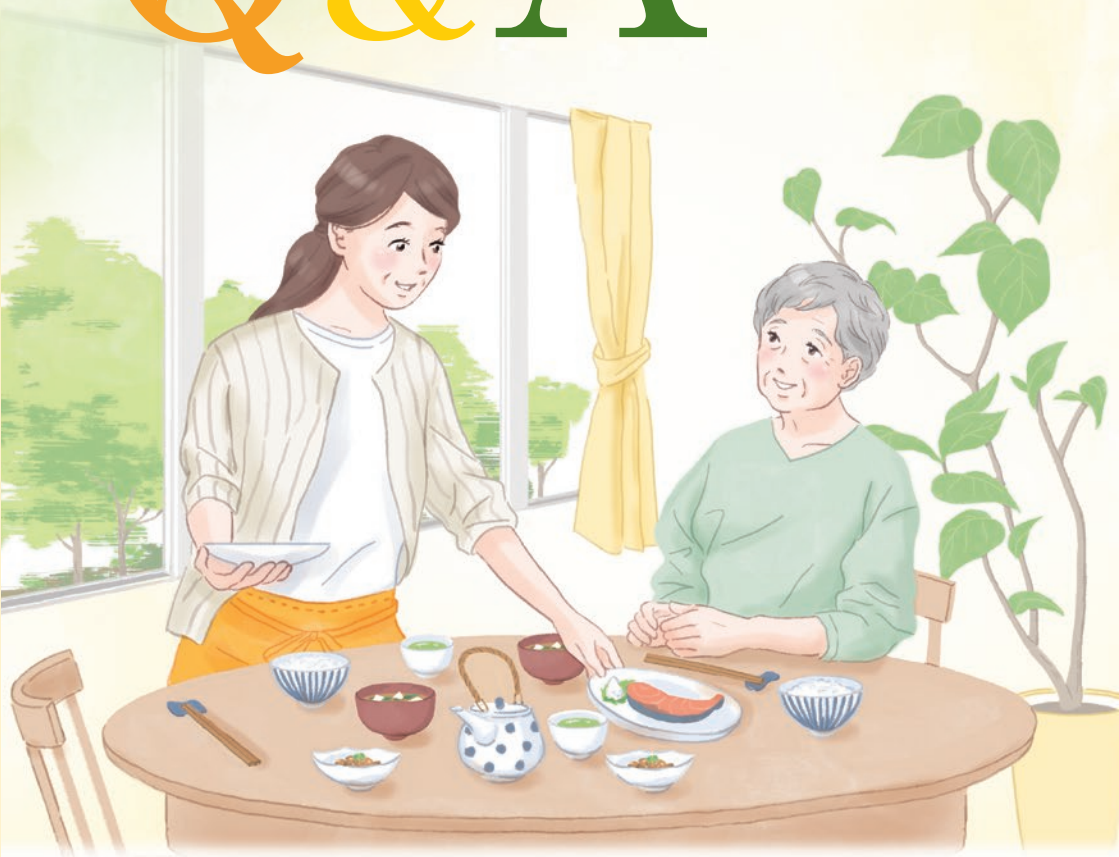


レキサルティを服用される
アルツハイマー型認知症の方と
ご家族・介護者の方へ

レキサルティ®

Q & A



目次

レキサルティの服用をはじめるにあたって

Q レキサルティはどのようなお薬ですか？ P.3

Q レキサルティの飲み方は？ P.4

Q レキサルティを飲みはじめて
どれくらいで効果が出ますか？ P.5

Q 症状が改善したら、レキサルティを
中止してもいいですか？ P.6

Q レキサルティを服用する時の注意点は？ P.7

レキサルティの 服用をはじめるにあたって

アルツハイマー型認知症に伴う過活動、攻撃的言動の背景には、多くの場合そこに至る理由があります。認知症の方で本人の視点に立って、どうしてその言動が生じたのか、その理由に合わせた環境調整や、デイサービスの利用などのケア（非薬物的介入）を継続することが重要です。

Q レキサルティはどのようなお薬ですか？

A レキサルティは、アルツハイマー型認知症患者のうち
焦燥感*、易刺激性**、興奮に起因する、過活動または
攻撃的言動の症状を改善するお薬です。

* 焦燥感：そわそわして落ち着かない

** 易刺激性：ささいな刺激に反応しやすい

アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、 興奮に起因する、過活動または攻撃的言動の例

アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、以下の
ような症状が繰り返し生じており、環境調整などのケア（非薬物的介入）を
行っても十分に効果が得られなかった方で、レキサルティの服用によって
改善が期待できると医師が判断した場合に服用します。



悪態をつく、
言葉による攻撃



たたく
(自分をたたく場合も含む)



何度も同じ行為を
繰り返す



全般的な
落ち着きのなさ



不満を訴える



拒絶する

- つばを吐く（食事中を含む） ● 蹴る ● 人や物につかみかかる ● 押す
- 物を投げる ● 叫ぶ ● 噛む ● ひっかく ● 自分や他人を傷つける
- 物を壊す・割る ● 徘徊する、目的なく歩き回る ● 不適切な着衣、脱衣
- 別の場所に行こうとする（室外や屋外へ出ようとする） ● 物を不適切に取り扱う
- 注目や助けを不当なほど要求し続ける ● 文章や質問の繰り返し

Q レキサルティの飲み方は？

A レキサルティは1日1回服用します。

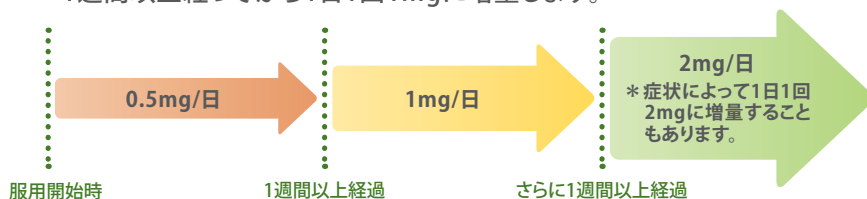
剤形

レキサルティはOD錠（口腔内崩壊錠）です。



服用量と服用回数

- 1日1回0.5mgから開始します。
- 1週間以上経ってから1日1回1mgに増量します。



飲み方

- 寝たままの状態の時は水なしでは飲まないようにしてください。
- 溶けやすいOD錠であっても、喉周辺にお薬が残ってしまう場合もありますので、服用後に唾液を飲み込むようにしたり、水で流し込んだりしてください。

わからないこと、不安なことは医師または薬剤師に相談しましょう。

Q レキサルティを飲みはじめて どれくらいで効果が出ますか？

A レキサルティは人によって効き方に差があり、
また症状によっても効果が出る時期が変わります。

レキサルティを飲みはじめて、数日で効果があらわれる人もいますが、効果があらわれるのに数週間かかる患者さんもあります。

お薬を規則正しく服用するための工夫

毎日、お薬を飲み続けることは大変なことです。

以下に、重複して服薬したり、飲み忘れてしまいための工夫をご紹介します。
ご自身の生活の中で、できそうなことからはじめてみてはいかがでしょうか。

服薬ボックスを使う



お薬を飲んだら カレンダーにチェックする



ご家族・介護者が 声かけや管理を行う



Q 症状が改善したら、レキサルティを中止してもいいですか？

A レキサルティをやめるタイミングについては、医師または薬剤師へご相談ください。

症状が軽くなると、お薬の服用をやめたいと思われるかもしれません。しかし、ご自身の判断で服用を中止してしまうと、症状が再発してしまうことがあります。

医師の指示に従って、きちんと服用を継続することが大切です。



お薬について不安や疑問がある時や、副作用と思われる症状がみられた時には、医師または薬剤師に相談しましょう。

Q レキサルティを服用する時の注意点は？

A 以下にレキサルティを服用するうえでの注意点、起こるかもしれない症状や副作用についてまとめました。

特に気をつけていただきたい副作用

- ものが飲み込みにくい、むせる、咳き込む
[誤嚥性肺炎]

飲食物や胃液などが誤って気管に入った後に、発熱、咳、痰、息切れ、ものが飲み込みにくい、むせる、咳き込むなどの症状がみられた場合は、すぐに受診してください。



このような症状があらわれた場合には、
医師または薬剤師に相談してください。

- 眠気や、注意力、集中力、反射能力などの低下
特に高齢の方は、転倒のリスク(危険性)が高いため、十分に注意してください。
自動車の運転など、危険を伴う機械の操作は避けてください。
- じっとしていることができない、立ったり座ったりを繰り返す[アカシジア]
- 舌を動かしたり、舌を出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き
[遅発性ジスキネジア]



このような場合には、医師または薬剤師に相談してください。

- ほかのお薬を飲む場合
レキサルティの作用と副作用が強く出ることがあります。
- 以前にお薬を使用してアレルギー症状が出たことがある方

アルツハイマー型認知症に伴う 焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動 または攻撃的言動に関するwebサイトのご案内

アルツハイマー型認知症の方とご家族・介護者の方に必要な情報や、
知っておいていただきたいことなどについてご紹介しています。

レキサルティを服用されるアルツハイマー型認知症の方と ご家族・介護者の方のための情報提供サイト

レキサルティによる適切な治療を継続するうえで大切な情報をお届けする
サイトです。

レキサルティ®.jp



<https://www.rexulti.jp/>



認知症に関する情報提供サイト

認知症の方・ご家族を対象に、疾患や治療、各種制度をはじめ地域での取り
組みなど、疾患に関わる情報を配信するサイトです。



ココロの健康情報局

すまいるナビゲーター

認知症



<https://www.smilenavigator.jp/ninchisyo/>



医療機関名